

# みちのくの木地玩具

懐かしの遊び

令和元年八月一日(木)～二月二十九日(金)



公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団附属 原郷のこけし群 西田記念館  
〒960-2156 福島市荒井字横塚3-183(アンナガーデン内) TEL: 024-593-0639

【ご利用案内】

- 入館料 一般 300円(団体20名以上250円) 中学生以下無料
- 開館時間 9:00~17:00(ご入館は16:30まで)
- ※最終日の11月29日は9:00~12:00までになります。



今回の企画展では、かつての東北の子供達の心をとらえた素朴な味わいと温かみがある木地玩具の魅力をご紹介します。

※木地玩具とは、木地師が木材をロクロにかけて作る玩具のことをいいます。



提灯ごま  
弥治郎系 新山久治作



こけしのメリーゴーランド  
土湯系 高橋忠蔵作



うさぎの餅つき  
遠刈田系 佐藤丑蔵作

明治～大正時代にかけて東北地方では独楽や笛など様々な種類の木地玩具が作られていました。こけしもかつてはたくさんあった木地玩具の一つで、着せ替えやままごと遊びの人形として遊ばれていたといえます。

しかし、大正末期になると新しいブリキやセルロイド玩具に押され、木地玩具は徐々に作られなくなりました。

### 【交通のご案内】

#### バス（福島交通）

##### ・土湯温泉行

福島駅東口より約30分

自治研修センター前 下車、800m

#### 車

##### ・福島西I.C.より10分

##### ・福島飯坂I.C.より40分

